ともに考え、ともに備え、ともに守る。

Press Release

防災庁

National Disaster Management Agency

令和８年 11 月 20 日
防災庁統括官（災害事態対処担当）付
参 事 官 （訓 練 ・ 人 材 育 成 担 当 ）

令和８年度大規模地震時医療活動訓練について

大規模地震時には、多数の負傷者の発生が想定されることから、被災地における医療活動や被災地内外での負傷者の搬送等について、毎年度、国や地方公共団体等の関係機関が連携して、組織体制の機能と実効性を検証するとともに、相互の協力の円滑化を図るための訓練を行っています。

今年度は、以下のとおり、総合的な実動訓練を実施します。

１　訓練の概要（別紙参照）

実　施　日：令和８年 11 月 27 日（金）・28 日（土）

訓 練 想 定：南海トラフ地震により、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県、宮崎県に甚大な被害が発生

参加機関等：静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県、宮崎県、
内閣官房、防災庁、警察庁、消防庁、厚生労働省（ＤＭＡＴ事務局含む）、
国土交通省、海上保安庁、防衛省
国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、日本赤十字社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社　等

２　主な訓練項目

（１）ＤＭＡＴの参集・活動訓練

・　各被災県への配分、参集、災害拠点病院での医療活動等の実動訓練など

※　ＤＭＡＴ：Disaster Medical Assistance Team、災害派遣医療チーム。
大地震等の災害時に被災者の生命を守るため、被災地に迅速に駆けつけ、救急治療を行う、厚生労働省の認めた専門的な研修・訓練を受けた災害派遣医療チーム。

（２）地域医療活動訓練

・　静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県、宮崎県それぞれで実施

・　保健医療福祉調整本部の設置・運営や地域医療搬送訓練など

※　地域医療搬送：地方公共団体や病院が、各防災関係機関の協力を得て、ヘリコプター、救急車等により患者を搬送する医療搬送（県境を越えるものを含み、広域医療搬送（後述）を除く。）。

（３）広域医療搬送訓練

・　対象患者を被災地内ＳＣＵから被災地外ＳＣＵへ航空搬送

※　広域医療搬送：国が各機関の協力の下、自衛隊等の航空機を用いて、患者を被災地内の航空搬送拠点から被災地外の航空搬送拠点まで航空搬送する医療搬送。

※　ＳＣＵ：Staging Care Unit、航空搬送拠点臨時医療施設。
患者を航空機で搬送するために、症状の安定化を図り、搬送を実施するための救護所として、被災地及び被災地外の航空搬送拠点に設置される施設。

３　問合せについて

（１）問合せは、それぞれ下記の問合せ先へお願いします。
なお、各県の訓練内容等は、各県にお問い合わせください。

（２）取材

・　訓練実施日における訓練実施場所（各県等が取材可能とした場所に限る。）での取材については、原則として入場登録等が必要です（自衛隊施設内での取材はできません。）。

・　登録手続等については、11 月 25 日(水)までに各県担当課室又はＤＭＡＴ事務局にお問い合わせください。

・　取材時には、訓練の妨げにならないよう、現地担当者の指示に従ってください。

＜問合せ先＞

・ＤＭＡＴの参集・活動訓練
厚生労働省ＤＭＡＴ事務局
（国立健康危機管理研究機構危機管理・運営局
ＤＭＡＴ事務局災害等危機管理対策第一課）
市原課長　（電話 03-6233-7173）

・地域医療活動訓練等、各県の訓練内容等
各県担当課室（別紙を御参照ください。）

・大規模災害時の医療体制、制度等
厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室
中務専門官　（電話 03-3595-2185）

・広域医療搬送訓練、その他
防災庁統括官（災害事態対処担当）付参事官（訓練・人材育成担当）付
椿本補佐、片岡主査　（電話 03-5797-7556）

ＤＭＡＴの訓練概要

○訓練の目的
- DMATの基本活動（施設を支える）の確認
- 保健医療福祉対応体制の強化

○訓練内容
- 保健医療福祉調整本部及び必要な地域の本部の設置及び運営
- 病院支援、社会福祉施設支援、被災地域支援の各分野の情報分析・共有
- 活動指揮、物資支援、搬送支援の各オペレーションの実施
- 本部及びＤＭＡＴ等による医療機関の調査、被害状況把握
- ＥＭＩＳによる情報共有
- DMATの基本活動（施設を支える）の原則を踏まえた支援活動の実施
- 衛星電話等の通信機器の活用
- 必要な関連機関との連携訓練の実施
- 広域医療搬送訓練

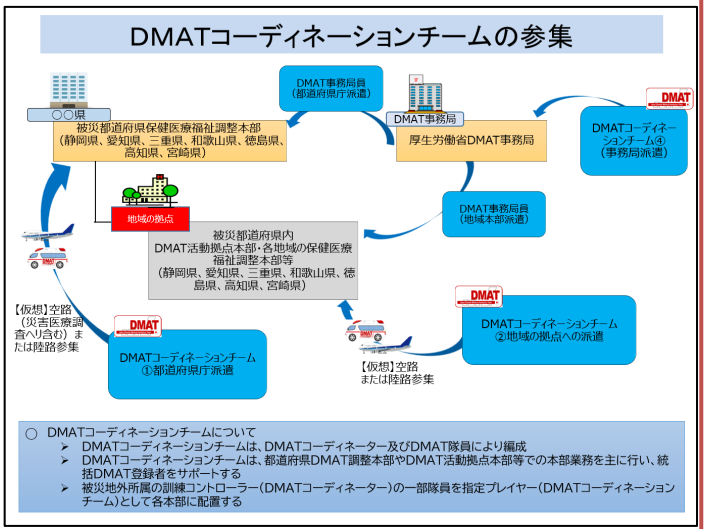
○ＤＭＡＴの参加について
- 被災地内の災害拠点病院・ＤＭＡＴ指定医療機関140病院が参加予定
- 被災地外から参加する支援ＤＭＡＴとして、訓練プレイヤーＤＭＡＴ約350チーム（約1700人）参加予定
- 被災地外からの参加する訓練コントローラー/指定プレイヤー（ＤＭＡＴコーディネーター等）約500人参加予定

○ＤＭＡＴの参集方法
- 東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄ブロック内のＤＭＡＴ：陸路
- 北海道ブロック内のＤＭＡＴ：空路（民航機利用）
- 自衛隊航空機によりDMAT1隊投入（福岡県→宮崎県）

○訓練日程
- 令和８年11月27日（金）～11月28日（土）
- 発災の想定：令和8年11月25日午前9時00分地震発生

- 非被災都道府県から被災県へのDMATの参集計画

被災県	参集するDMATの派遣元都道府県
静岡県	栃木県、神奈川県、山梨県
愛知県	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県、茨城県、埼玉県、東京都、長野県、岐阜県
和歌山県	千葉県、大阪府、奈良県
三重県	富山県、石川県、福井県、滋賀県、京都府
徳島県	群馬県、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県
高知県	北海道、広島県、山口県、香川県、愛媛県
宮崎県	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県



静岡県の訓練概要

〇訓練日時
- ・令和8年11月27日（金） 9時00分 ～ 17時00分（予定）
- ・令和8年11月28日（土） 9時00分 ～ 16時00分（予定）

〇訓練場所
- ・静岡県庁、静岡市、浜松市、災害拠点病院、SCU（静岡空港、航空自衛隊浜松基地） 等

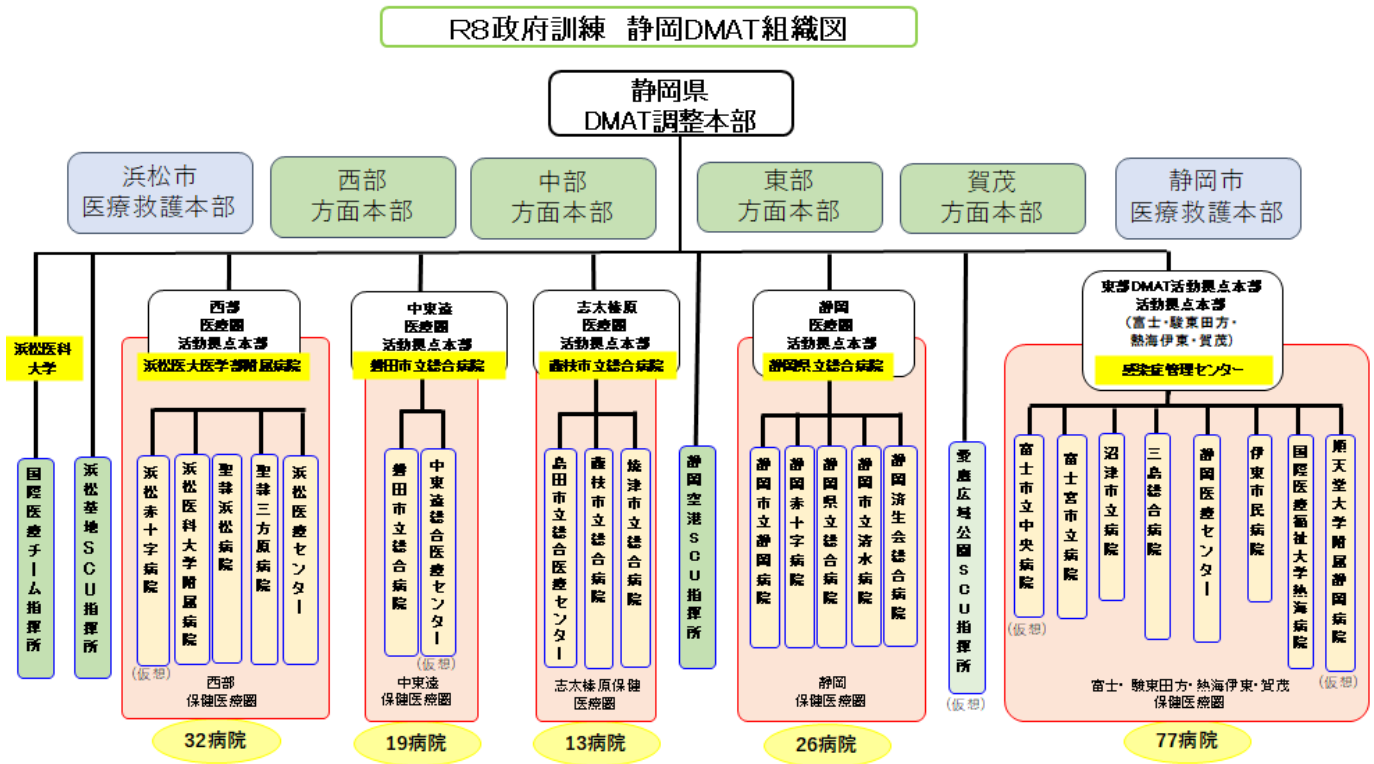
〇訓練想定
- ・南海トラフ地震（県内最大震度7） ※地震により県内の沿岸地域では津波浸水による甚大な被害が発生

〇訓練概要
- ・静岡県保健医療福祉調整本部の設置運営訓練
- ・静岡県DMAT調整本部及びDMAT活動拠点本部設置運営訓練
- ・DMATによる患者搬送実動訓練
- ・人工透析患者の搬送調整訓練
- ・保健医療活動チームとの連携(災害時小児周産期リエゾン、災害支援ナース、DPAT等)
- ・国際医療チーム受援訓練
- ・他機関との連携（静岡県医師会、静岡県薬剤師会、保健所、政令市、災害拠点病院、自衛隊）

問い合わせ先
静岡県健康福祉部
医療局地域医療課
TEL：054-221-2406

〇訓練参加機関
- ・静岡県、静岡市、浜松市、災害拠点病院、災害拠点精神科病院、富士山静岡空港(株)、自衛隊 等

指揮系統図（ＤＭＡＴを中心に記載）



愛知県の訓練概要

○日時：令和８年11月27日（金）13時～16時30分（前日訓練）
　　令和８年11月28日（土）8時45分～16時30分

○場所：愛知県庁、関係保健所、DMAT活動拠点本部、各災害拠点病院　等

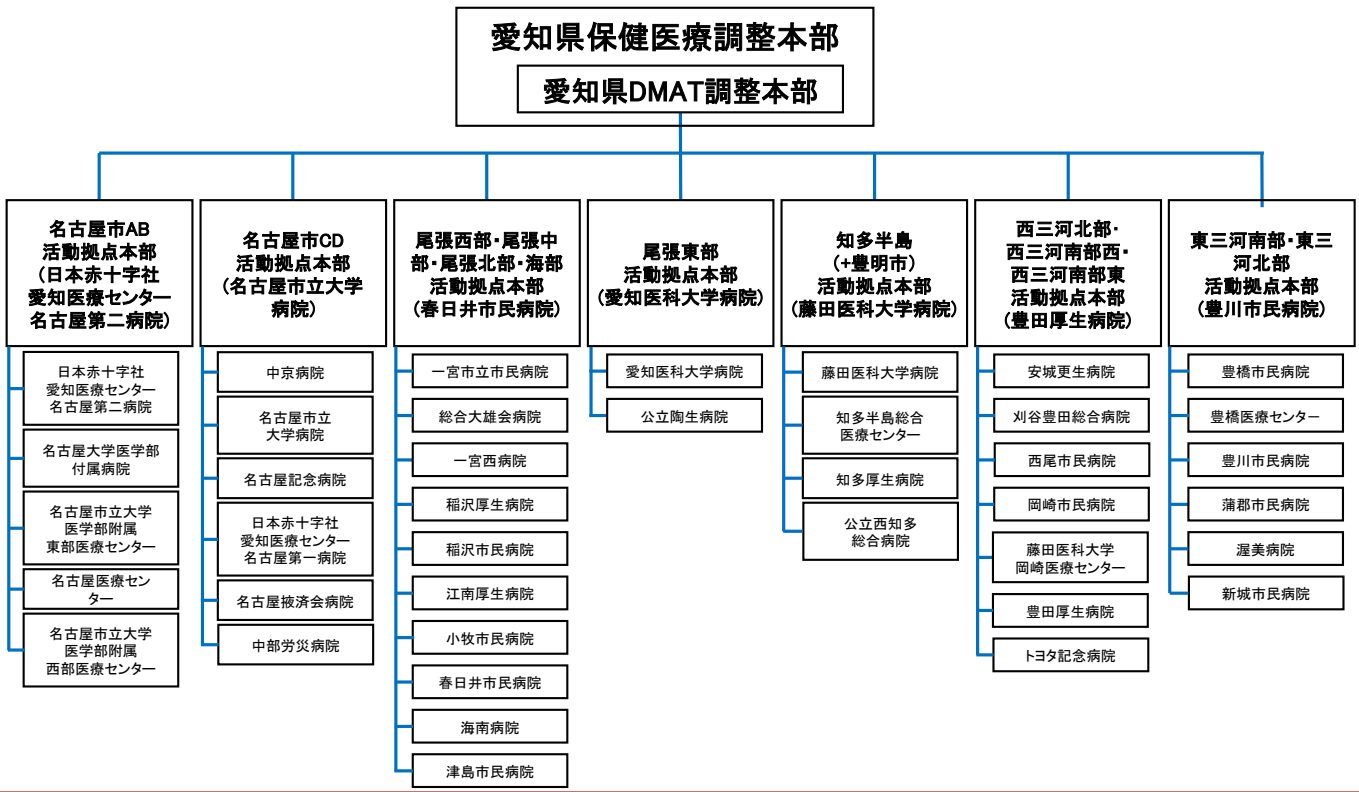
○訓練想定：南海トラフ地震（県内最大震度７）

○訓練概要：保健医療調整本部運営訓練（県庁）
　　保健医療調整会議運営訓練（保健所）
　　ＤＭＡＴ活動拠点本部運営訓練
　　知多半島ＳＣＵ（医療搬送拠点）運営訓練（知多半島総合医療センター）
　　各分野別訓練（ＤＰＡＴ、透析・小児周産期リエゾン、ロジスティクス）
等

○訓練参加機関：愛知県（保健医療局、福祉局、防災安全局）、政令市、中核市、
　　愛知県医師会、愛知県歯科医師会、日赤愛知県支部、
　　県内災害拠点病院(40)、各都道府県ＤＭＡＴ、愛知県警察本部、
　　名古屋市消防局、第四管区海上保安本部、陸上自衛隊第10師団　等

問い合わせ先
愛知県保健医療局健康医務部医務課
電話：052-954-6628

指揮系統図（DMATを中心に記載）



三重県の訓練概要

○日時：令和８年１１月２７日（金）　１３：００～１７：００
　　令和８年１１月２８日（土）　　８：００～１６：３０

○場所：三重県四日市庁舎、県内災害拠点病院、県内訓練参加医療機関　等

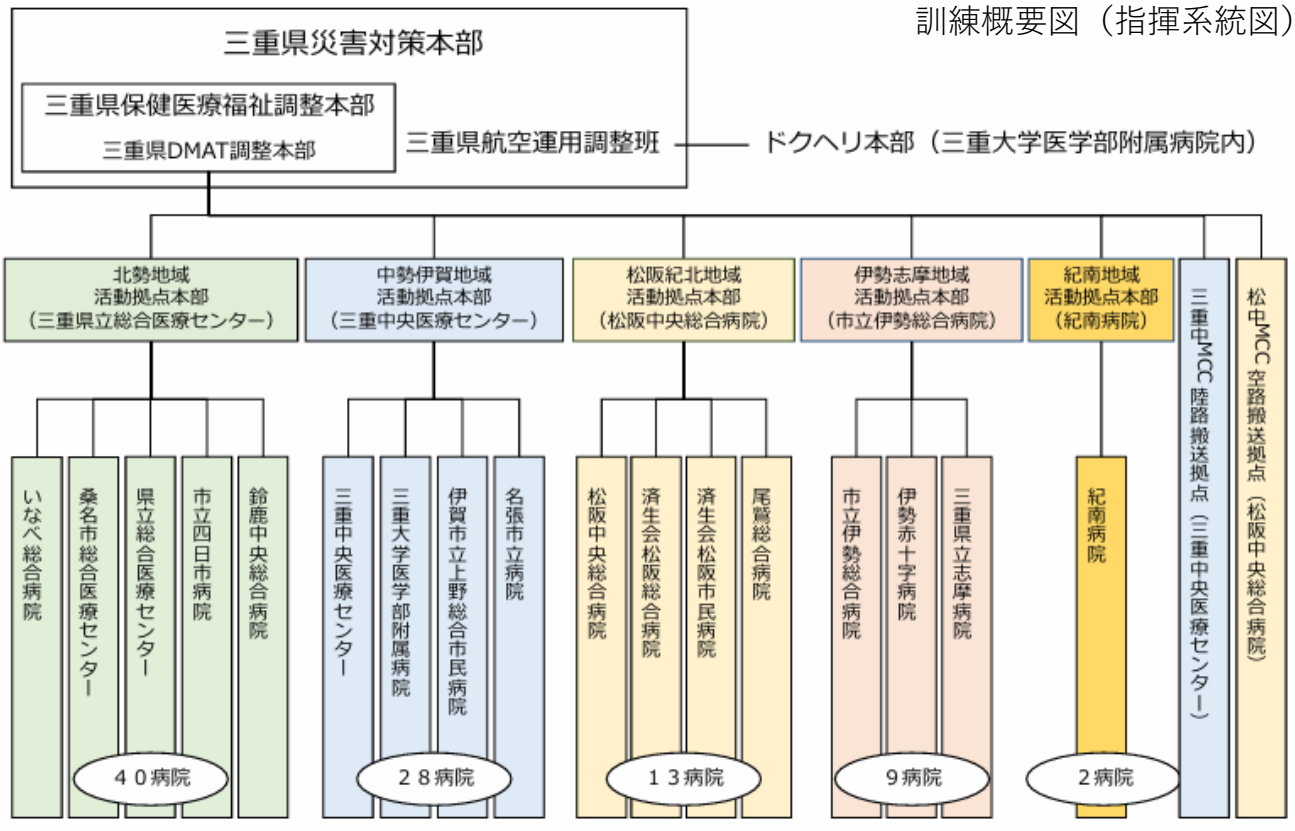
○訓練想定：南海トラフ地震（県内最大震度７を想定）

○訓練概要：保健医療福祉調整本部（DMAT調整本部）運営訓練、
DMAT活動拠点本部運営訓練、病院等支援訓練、医療搬送訓練、
避難所医療活動訓練

○訓練参加機関：三重県医師会、三重県歯科医師会、三重県薬剤師会、三重県看護協会、
三重県医薬品卸業協会、日本赤十字社三重県支部、
三重県臨床検査技師会、三重県透析研究会、三重県臨床工学技士会、
三重DMAT、三重DPAT、三重県災害時小児周産期リエゾン、
医療機関（災害拠点病院等）、関係市町、三重県防災航空隊、
中日本航空株式会社、陸上自衛隊

問い合わせ先
三重県医療保健部医療保健総務課
電話：０５９－２２４－２３２３

訓練概要図（指揮系統図）



和歌山県の訓練概要

○日時：令和８年11月27日（金）13時00分～17時00分（予定）
　　令和８年11月28日（土）　8時30分～17時00分（予定）

○場所：和歌山県庁、沿岸部保健所、訓練参加病院、南紀熊野リゾート空港　等

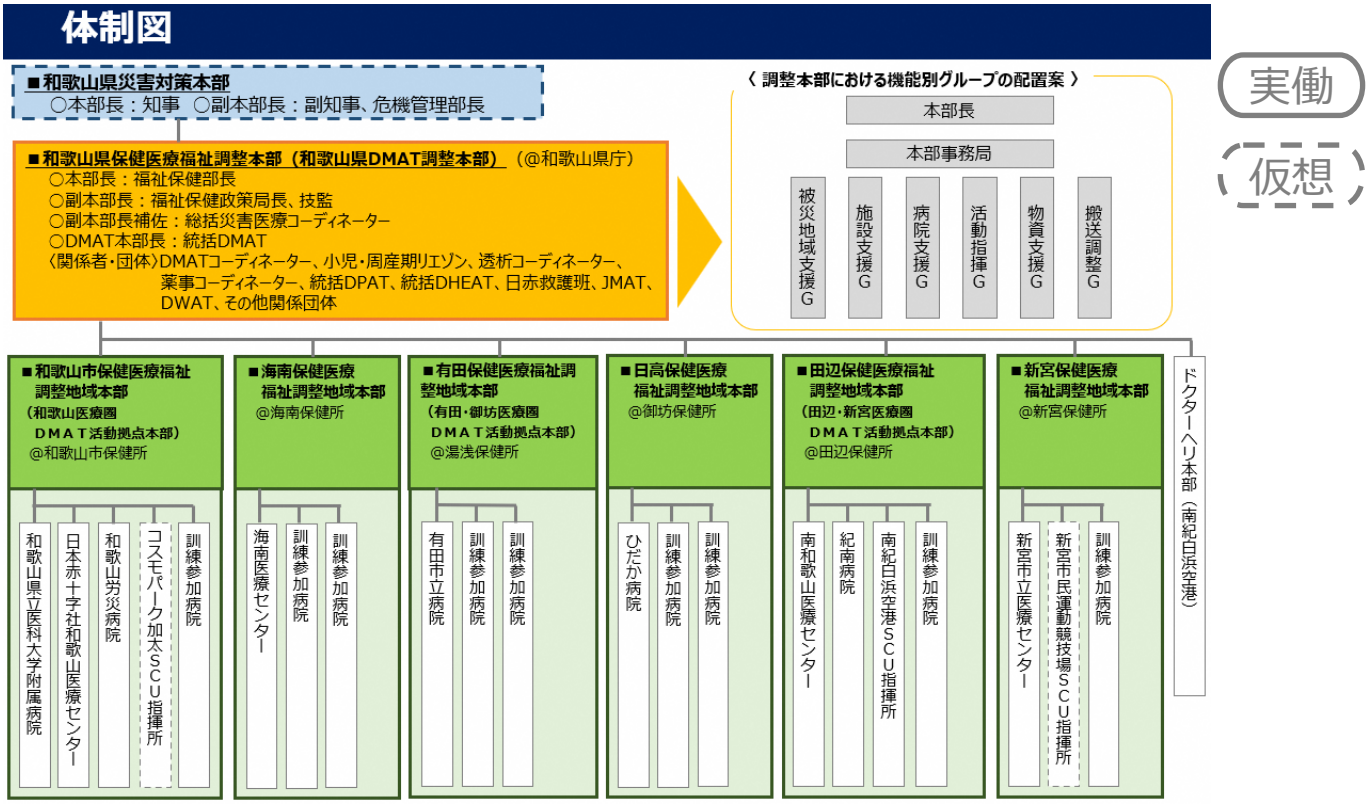
○訓練想定：南海トラフ地震（最大震度７を想定）

○訓練概要：和歌山県保健医療福祉調整本部運営訓練、ＤＭＡＴ訓練、ＤＨＥＡＴ訓練
ＤＷＡＴ訓練、ＤＰＡＴ訓練、ＪＭＡＴ訓練、透析訓練、災害時小児・周産期リエゾン訓練、災害支援ナース訓練、保健師等チーム訓練、日赤訓練、ＳＣＵ運営・ 患者搬送訓練、社会福祉施設訓練、医薬品等供給訓練、地域医療活動・連携訓練（和歌山、海南、湯浅、御坊、田辺、新宮）

○訓練参加機関：和歌山県、市町村、訓練参加医療機関、日本赤十字社県支部、県医師会、郡市医師会、透析医会、県看護協会、県薬剤師会、和歌山県赤十字血液センター、医薬品卸組合、大阪医療機器協会、日本産業・医療ガス協会、県社会福祉協議会、県知的障害者福祉協会、トヨタモビリティーパーツ（株）、損保ジャパン、ヒラタ学園、DMAT事務局　等

問い合わせ先
和歌山県福祉保健部医務課
電話：073－441－2604

体制図



徳島県の訓練概要

○日時：令和８年１１月２７日（金）　１０時００分～１７時００分
　　令和８年１１月２８日（土）　　８時００分～１７時００分

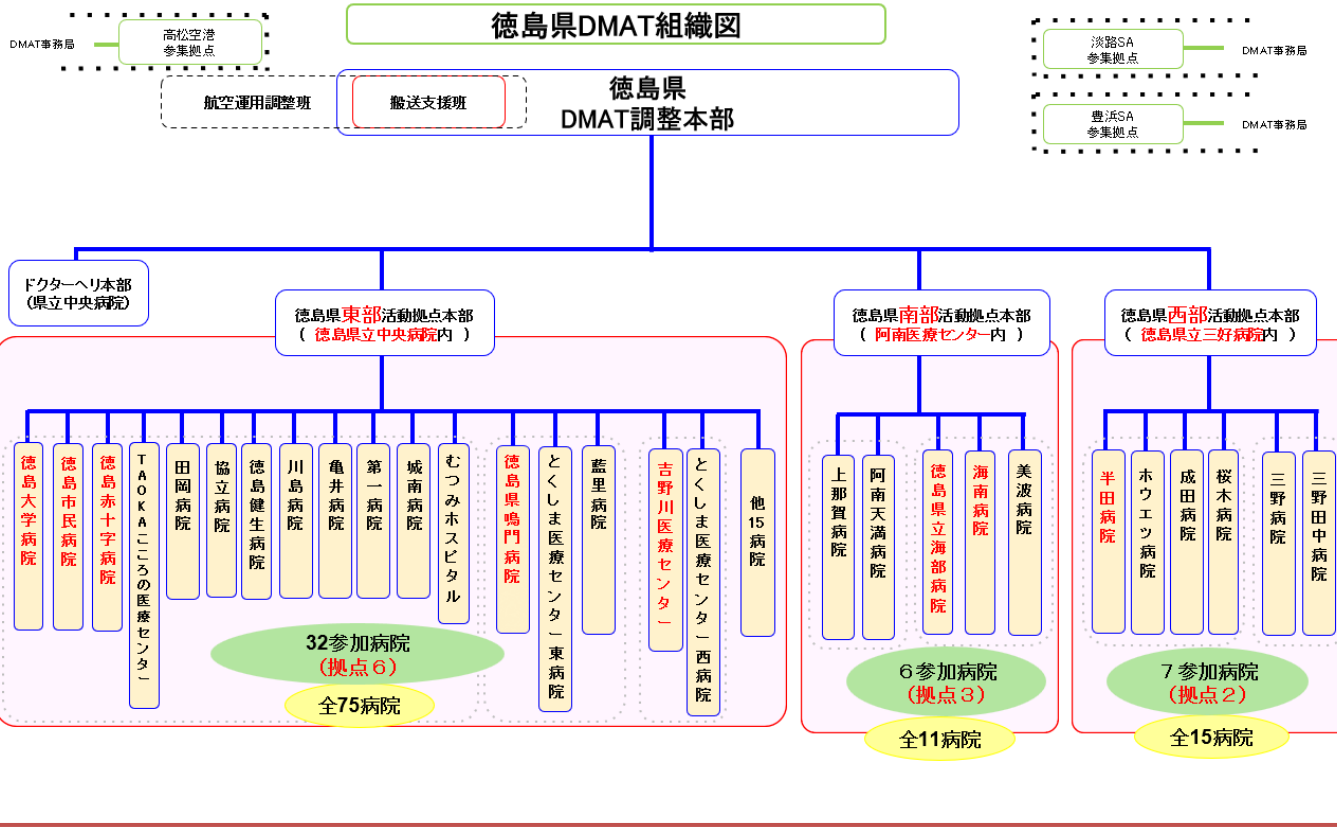
○場所：徳島県庁、県内災害拠点病院及び一般病院

○訓練想定：南海トラフ地震（県内最大震度７を想定）

○訓練概要：保健医療福祉調整本部及びDMAT調整本部設置・運営訓練、
保健医療福祉調整地域本部設置・運営訓練
DMAT活動拠点本部設置・運営訓練、病院支援訓練、
患者搬送訓練、社会福祉施設支援訓練、被災地域支援訓練　等

○訓練参加機関：徳島県、県内市町村、県内災害拠点病院等医療機関、
自衛隊、日本赤十字徳島県支部、県医師会、県歯科医師会、
県透析医会、県看護協会、県薬剤師会、
災害時小児周産期リエゾン、災害時協定締結事業者　等

問い合わせ先
徳島県保健福祉部医療政策課救急・災害医療対策室
電話：088－621－2186



高知県の訓練概要

○日時：
令和８年11月27日（金）９時00分～17時30分（予定）
令和８年11月28日（土）９時00分～16時00分（予定）

○場所：
高知県庁、高知県保健衛生総合庁舎、高知市保健所、各福祉保健所、県内災害拠点病院、
訓練参加一般病院、訓練参加社会福祉施設、その他（避難所開設施設、関係市町村役場等）

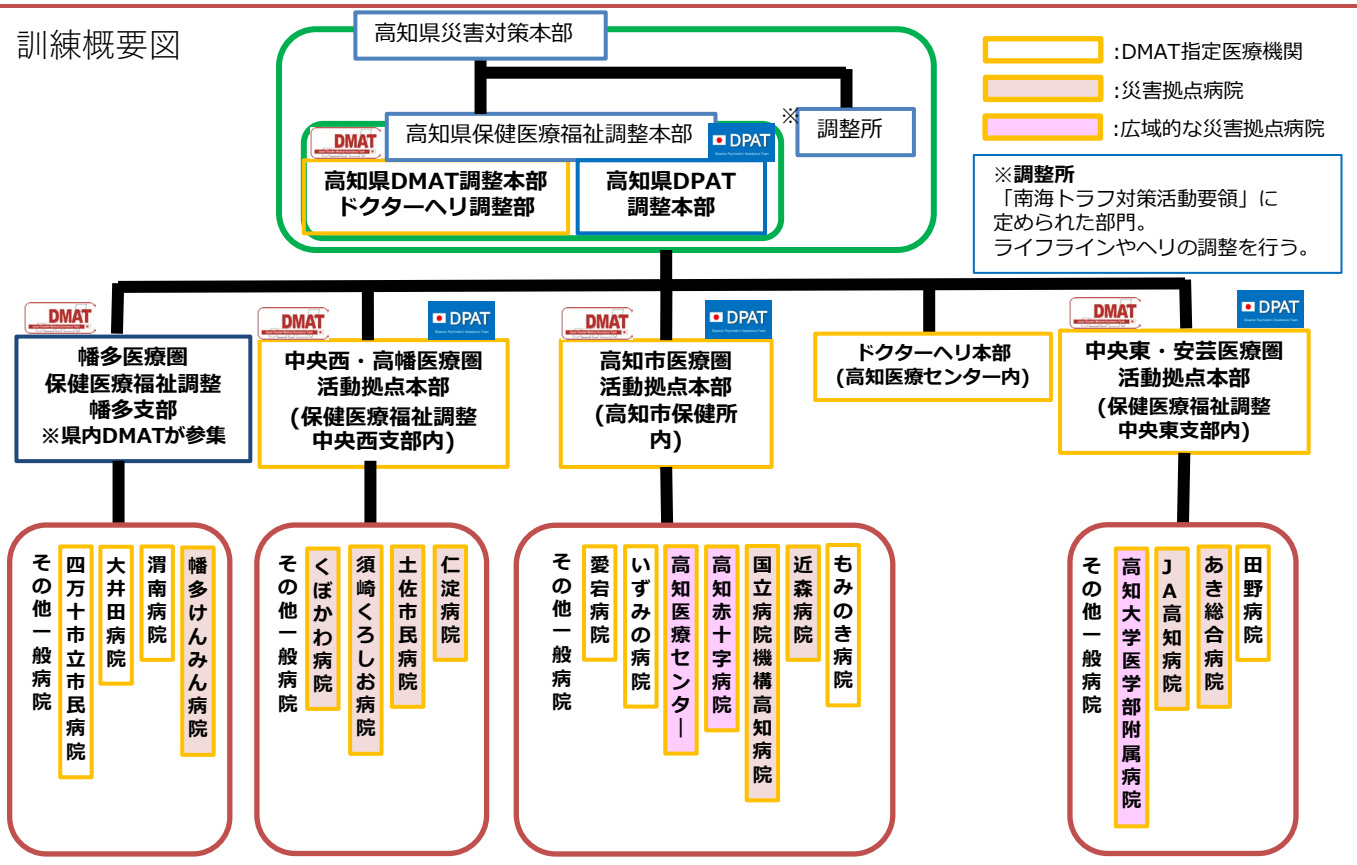
○訓練想定：
令和８年11月25日（水）午前９時に南海トラフ地震が発生
（被害想定：Ｌ２（現在の科学的知見に基づき、発生し得る「最大クラス」の 地震・津波））

○訓練概要：
県保健医療福祉調整本部・支部運営訓練、DMAT（DPAT）活動拠点本部運用訓練、DMAT（DPAT）
受援・病院支援訓練、医療救護チーム受援訓練、災害拠点病院等院内訓練、社会福祉施設関係訓練、
避難所支援訓練　等

○訓練参加機関：
高知県、厚生労働省DMAT事務局、関係市町村、県内災害拠点病院、その他医療機関、社会福祉施設、
高知県医師会、高知県歯科医師会、高知県薬剤師会、高知県看護協会、高知県栄養士会、日本赤十字社
高知県支部、高知県助産師会、高知県災害リハビリテーション連絡協議会、高知県医薬品卸業協会、
高知県社会福祉協議会、ジャパンハート、ピースウィンズ・ジャパン、
国境なき医師団、医療コンテナ推進協議会、高知県臨床検査技師会　等

問い合わせ先
高知県健康政策部保健政策課
TEL：088－823－9667

訓練概要図



宮崎県の訓練概要

○日時：令和８年１１月２８日（土）８時００分開始（予定）

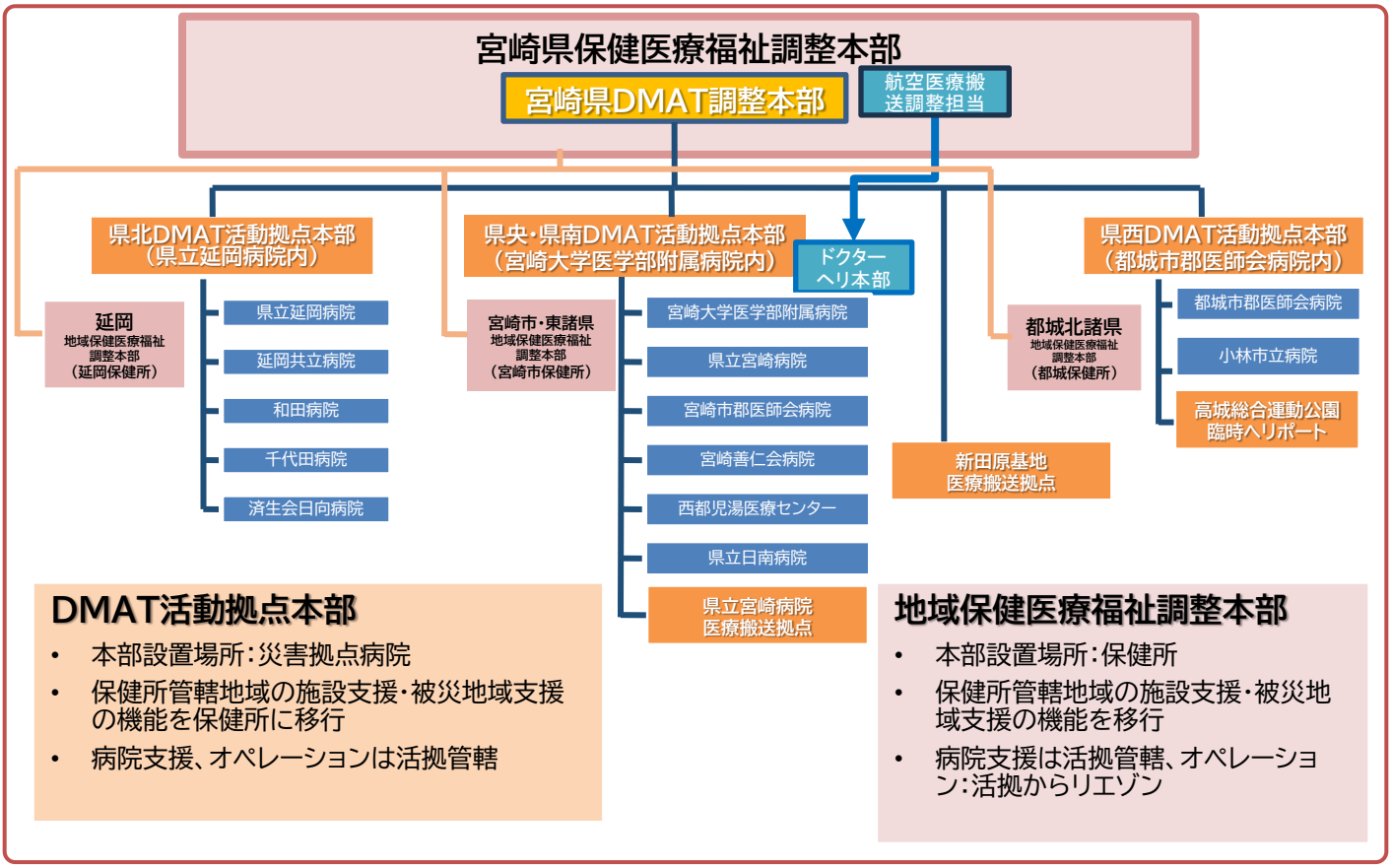
○場所：宮崎県庁、宮崎市保健所、延岡保健所、都城保健所、県内災害拠点病院及び一般病院、介護保険施設、新田原基地　等

○訓練想定：令和８年１１月２５日（水）９時００分に南海トラフ地震が発生

○訓練概要：保健医療福祉調整本部等設置・運営訓練、DMAT活動拠点本部設置・運営訓練、ロジスティクス訓練、小児・周産期部門訓練、DPAT訓練、社会福祉施設支援訓練、災害支援ナース派遣調整訓練、医療コンテナ運用訓練、広域医療搬送訓練　等

○訓練参加機関：宮崎県、県内災害拠点病院及び一般病院、介護保険施設、関係市町村、自衛隊、海上保安庁、DMAT、DPAT、DHEAT、災害時小児・周産期リエゾン、県医師会・JMAT、県透析医会、県看護協会、県薬剤師会、ライフライン事業者、他関係団体

問い合わせ先
宮崎県福祉保健部医療政策課
電話：0985-44-2796



広域医療搬送訓練

■機体運用及び訓練概要案

・遠隔地に所在するＤＭＡＴチームが空路により被災地内へ参集
・被災地内ＳＣＵから重症患者を被災地外ＳＣＵへ航空搬送

目的		発SCU			着SCU	
DMAT参集（空路）	①	福岡県	春日基地	⇒	宮崎県	新田原基地
広域医療搬送	②	宮崎県	新田原基地	⇒	福岡県	春日基地

